

認定特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎

# 2022年度(令和4年度) 事業報告



コンサート&シンポジウム

## 2022年度(令和4年度)事業報告

1、活動のまとめ	… 1
2、2022年度事業活動実績	
1)在宅ホスピス支援センター事業(ホスピスボランティア活動)	… 3
(1)患者らいぶらり    (2)宮崎聞き書き隊	
(3)緩和ケア病棟園芸ボランティア	
2)人材養成のための教育プログラム	… 4
(1)これからライフデザイン塾	
(2)市民公開講座(宮崎市在宅療養相談事業)	
(3)がん患者と家族のためのサポーター養成講座(宮崎県がんサロン等運営支援事業業務委託)	
3)エンドオブライフケア支援事業	… 7
(1)暮らしの保健室	
①ゆりサロン②陽だまりカフェ③えがおキッチン④お灸教室⑤AYA 世代お茶会	
(2)ふらっとカフェ(がんサロン事業・宮崎県委託)	
(3)宮崎市在宅療養相談支援事業(宮崎市補助事業)	
4)ホームホスピスカあさんの家事業	… 1 3
(1)かあさんの家の運営	
(2)訪問介護ステーションぱりおん(医療・介護保険規定による事業)	
5)HALE たちばな	… 1 6
(1)事業概要	
(2)休眠預金等活用事業	
(3)たちばな学舎・コミュニティカフェ游椿	
(4)難病の子どもと家族を地域で支える取り組み(日本財団助成)	
(5)医療・介護保険規定による事業	
①みつばち診療所	
②訪問看護ステーションぱりおん	
③日中一時支援 ohana	
④共生型短期入所(福祉型強化)施設 leilei	
6)ホームホスピス推進研修センター事業	… 2 5
(1)ホームホスピススキルアップ研修	
(2)一般社団法人全国ホームホスピス協会の事務局運営	
7)研究・啓発・情報・広報	… 2 6
(1)認定NPO 寄付文化の醸成	
(2)ホームページ SNS の充実・報道	
(3)講師派遣・見学者の受け入れ	
(4)外部委員会参加	
8)助成・寄付	… 2 7
9)組織運営	… 2 8
(1)理事会・定期総会	
(2)会員	
(3)寄付者	
(4)事務局	

# 1. 活動のまとめ

## ◎はじめに

1998年、「ホームホスピス宮崎」を設立して四半世紀が経ちました。新型コロナウイルス感染症によるケアの現場での戦いも3年になり、このような中で、「住み慣れたまちで、最後まで安心して暮らせるまちづくり」の理念を大切に、それぞれの事業の実践を積み重ねた一年でもありました。

「H A L E たちばな」が開設されて1年半になりました。「みつばち診療所」「訪問看護ステーションぱりおん」「短期入所（共生型）leilei」、「日中一時支援 ohana」の事業は、予想を超えて多くの方々に利用していただいています。

「みつばち診療所」は、宮崎大学医学部・医療・総合診療医学講座と連携し、小児在宅医療だけでなく年齢や疾患に寄らず訪問診療を行う在宅療養支援診療所です。開設以来、楠元恭子医師が細やかさと機動力のよさで、患者さんの信頼を築かれており、がん末期の方や高齢の難病の方など在宅ターミナル患者が60%を占め、小児の看取りも行っています。24時間対応の在宅医療は、訪問看護、訪問薬局、訪問歯科などとの連携が必須です。同じ法人内にある診療所と訪問看護が、緻密な情報共有と、連携して患者さんの生活を支えられることは大きな強みです。3月には、3階の診療所が手狭となり、1階のたちばな学舎と空間を入れ替えて、改築移転しました。2023年度4月からは石坂真梨子医師を迎え、2名医師体制での診療がスタートします。

「訪問看護ステーションぱりおん」は、訪問看護を中心に、小児、障がい者「短期入所（共生型）leilei」、「日中一時支援 ohana」の事業を担っています。1周年を記念して、コンサートとシンポジウム「身近な人の困難に寄り添える社会に」を開催、来場した一人一人の心に届く素晴らしい集いとなりました。

1年半の実践を通して課題も見えてきました。短期入所（共生福祉型）は、介護保険と障害福祉を両方使うことができ、医療的ケア児から障害を抱える高齢者まで利用が可能で、利用希望が多く常に満床での稼働が続いています。短期入所で子どもを預け、ひと時の休息を得ることができるようになったとの感想が寄せられています。利用者は、呼吸器や吸引等医療的なケアが常に必要な方々が多く一時も気が抜けません。にもかかわらず短期入所の共生福祉型は医療型に比べて対価が三分の一程度であり、スタッフの待遇や安全面などの環境整備をおこなうのに十分ではありません。まだまだ制度が追いついていないという現状が見えてきました。

休眠預金活用事業では、宮崎県医療的ケアネットワーク（Pono）を開催、オンライン会議で、情報の共有や地域の課題、意見など集約できる場となっています。コミュニティカフェ「游椿」では、ママランチの会、お薬と健康の相談cafe、ケアラーのためのヨガなど、新しい企画がうまれています。

「ホームホスピスカあさんの家」は、「かあさんの家安庵」がスタッフの減少でシフトを回せなくなり、7月より入居者2名と残っていたスタッフ3名を「かあさんの家霧島」に吸収し、体制が整うまで休止としました。スタッフの求人を工夫して行っていますが、なかなか供給を満たせない現状です。全国的にも介護職の不足が深刻化していることは大きな社会問題となっていますが、これには、医療福祉分野での介護職の給与水準が低いことがあげられます。

また、コロナ禍により病院や施設では面会謝絶が続き、残された時間にかあさんの家でみとりたいという相談が増えました。入居される時にはすでに余命わずかという方が多く、短期間でのお見送りとなった方が例年の倍になりました。そして、感染対策を徹底していたにもかかわらず、9月に

入居者の感染が判明、直ぐにスタッフにも感染が広がりました。あらためてオミクロン株の感染力の強さを思い知らされました。未感染の数名のスタッフで、泊まり込んでの非常態勢のケアとなりました。幸いにも感染された入居者は一両日で熱も下がり普通の生活に戻りましたが、スタッフはPPE装着してのケアで、保健所の指導を受けながら2週間で終息にたどり着きました。今後、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが2類相当から5類に引き下げられますが、ウイルスがなくなったわけではなく、感染症に対してハイリスクの方々暮らししている「かあさんの家」では、今後も適切な感染対策を実施していかなければならないでしょう。

**HHMの研修事業やボランティア活動**は、感染状況を見ながら休止や人数を減らしての開催となりました。特に、「患者らいぶらり」、「緩和ケア病棟園芸ボランティア」は、引き続き実施できていませんが、医師会病院緩和ケア病棟も古賀総合病院も、時期が来れば再開をお願いしたいとの意向です。宮崎県立病院で開催している「ふらっとカフェ」は、感染拡大で実施できなかった8月、9月を除いて10回開催しました。参加者は治療中の方やがんサバイバーの方ですが、現在がんの治療で入院中のご家族からの相談が増えて居ます。面会できない、家に帰りたい、残された時間があまりないので本人の希望をかなえてやりたいという切実なものです。病気や人生には、いろいろな局面があります。現在は進行がんなどでも治療成績が良くなり、病院での治療が長期化しています。その結果、在宅へ移行する見極めが難しくなっているのではないかと思います。まだまだ、在宅緩和医療や訪問看護などの在宅医療資源の利用方法が周知されていないと感じます。

宮崎市在宅療養支援相談室にも、高齢者の世帯で共に老いていくことの不安や家で暮らし続けたいけれど可能かとか、遠方に暮らす子供から一人暮らしの親世帯の相談と多様になっています。「ゆるりサロン」や、本年度からスタートした「陽だまりカフェ」は、要望に応じた多彩なプログラムで、コロナ感染症の対策をしながら人数は10名前後で実施し、穏やかな居場所になっています。

**人材養成のための教育プログラム**は、「これからライフデザイン塾」を、講師の小田豊二先生のバージョンアップした講義で開催しました。「ホスピスケア市民講座」では、「認知症は怖くない」というテーマで、鹿児島から森田洋之先生、介護の現場でいま最も注目を集めている中迎聡子さんをお迎えして、3年ぶりにリアルのみの開催となりました。県外からの参加者もあり、話し手と聞き手の熱気が会場の空気を温め、やはり生はいいなと実感しました。「がん患者と家族のためのサポーター養成講座」は、若い世代のがん患者さんが増えていることから、24歳でがんを経験され現在マギーズ東京の共同代表として、患者支援に携わっている鈴木美穂さんに『泣くことしかできなかったわたしを変えてくれたもの』のテーマでお話を聞き、その後オンラインでのミーティングとなりました。

併設の**一般社団法人全国ホームホスピス協会事務局**は、全国に広がるホームホスピスの相談支援を担っています。主催の「ホームホスピスの学校」の運営は、オンラインでの講義が主で、ホームホスピスを開設したいと希望する方が仕事をしながら受講できるというメリットがあり、全国各地から応募があります。また修了後の法人設立や開設準備、物件のアドバイスなど、多方面の業務が必要となっています。「かあさんの家」を開設して18年、全国各地に準備中も含めると65軒のホームホスピスが広がり、ホームホスピスの要として、研修や実習の受け入れなど実施しました。

## 2. 2022年度(令和4年度)事業活動実績(2022年4月1日～2023年3月31日)

### 1) 在宅ホスピス支援センター事業(ホスピスボランティア事業)

#### (1) 患者らいぶらり

実施日時：毎月第3木曜日 14:00～16:00

場 所：古賀総合病院 中央4F病棟 東棟3F病棟産婦人科

内 容：病棟の図書管理、整理

担 当：峰 瑞枝

ボランティア：4名

実 施 日：実施なし

合計0日 活動延べ人数：0名

2022年度も昨年同様実施することができなかった。

#### (2) 宮崎聞き書き隊

実施日時：毎月第2日曜日 10:00～12:00

場 所：暮らしの保健室

担 当：井上 直敬

ボランティア：11名

実 施 日：(参加人数※リモート参加者も込)

2022年4/10(5)、5/15(7)、6/12(4)、7/3 全国(3)ホームホスピス協会育成塾聴講、8/21(4)、

9/11(5)、10/16(5)、11月(休会)、12/4(3)、

2023年1/15(7)、2/19(3)、3/12(3)

合計11回 延べ参加者数：49名

講座を受けたあとを定着した活動に導くためや、聞き手・書き手としての疑問や行き詰まりを解消するために定期的にも実施している。また交流の場、情報交換の場としての機能も有している。

メットライフ生命 CSR 活動(オンライン聞き取り)のサポートを行った。



オンラインサポート

#### (3) 緩和ケア病棟園芸ボランティア

実施日時：毎月第1・第3水曜日 10:00～12:00

場 所：宮崎市郡医師会病院 緩和ケア病棟 中庭

内 容：緩和ケア病棟の庭園の花の管理等

ボランティア：9名

実 施 日：実施なし

合計0日 活動延べ人数：0名

緩和ケア病棟が生目に移転して2年になるが、コロナ感染予防のために病院は面会制限があり、ボランティアも休止状態である。

## 2) 人材養成のための教育プログラム

### (1) これからライフデザイン塾

#### 【開催概要】

「聞き書き講座」

期 日：2022年7月10日(日) 9:30~12:30

会 場：HALE たちばな たちばな学舎

参加者：17名 (宮崎聞き書き隊9名、一般6名、実習生2名)

講 師：小田 豊二氏

内 容：講義「誰でもできる聞き書き入門(初級編)」

実践「セブンミニッツ聞き書き」(二人組で7分間ずつ聞き書きをする)

講義「聞き書き人のまなざし(中級編)」



2022年3月実施を予定していたが、2023年度へ延期となり開催。

第7波が迫るなかではあったが、久しぶりの対面講座だったこともあり、大変喜ばれた。実践では、初対面の二人が、お互いに7分間で話を聴いて、7分間でまとめるという難しいものであったが、実践が終わっても話が尽きない様子で休憩時間も席を立たないくらい盛り上がっていた。

### (2) 市民公開講座 (令和4年度 宮崎市在宅療養相談事業)

「認知症は怖くない」

期 日：2023年3月4日(土) 開会 13:00

会 場：JAアズム 別館 202 研修室

来場者：59名 事務局・スタッフ7名

講師：森田 洋之 氏

中迎 聡子 氏

内容：「生活をみる医療」森田洋之 氏

「生き方を支える介護」中迎聡子 氏

質疑応答 コーディネーター市原美穂



#### 【参加者感想】

- ・森田先生に一度お会いしたかったので、うれしかった。話もおもしろくて、楽しかったです。子連れでの参加で、元助産師さんが声をかけて下さり、とてもうれしかった。
- ・医療の方の話もすごくよく理解できた。介護の仕事、心より対応されていて、自分と同じという気持ちで接していらして感激した。素晴らしい介護のお仕事を聞かせていただき感謝。「いろ葉」にご縁のある方は幸せだなと羨ましい位だった。
- ・生きること、生きるを支えること、色々考える機会になった。
- ・中迎さんの話は、そこまでされるのか…と驚きました。同時に父の介護について考えさせられた。

- ・介護のあり方、考え方等、考えさせられる時間でした。施設であっても自分らしく暮らす。生きるにはどうしていくのがよいのか知る機会になった。
- ・1人1人の介護の中で小さなよろこびを見出していること、ふりまわされること、いつもとちがうこと、変化の共有をスタッフと共通認識をしていること、家族のように寄り添っていること、とても感激した。
- ・「気の精」最高です。「高齢者の健康に医療はたいして役に立たない」健康で本人が望んでいる生活を支えることを学んだ。
- ・その人がもっている生命力を最大限に引き出す関わりを日々実践されている姿に感銘を受けた。最後は住み慣れた場所で安心して暮らすことが出来れば、人は心を開くことを改めて大切であると認識することが出来た。



### (3) がん患者と家族のためのサポーター養成講座(宮崎県がんサロン等運営支援事業業務委託)

「泣くことしかできなかったわたしを変えてくれたもの

～24歳でがんになって感じたこと～

期 日：2023年2月19日(日)13:00～16:00

会 場：暮らしの保健室

ZOOMでのオンラインと会場のハイブリッド開催

講 師：鈴木 美穂 氏

(認定NPO法人マギーズ東京共同代表理事/元日本テレビ記者・キャスター)

コーディネーター：板井孝彦 氏

(宮崎大学医学部 社会医学講座 生命・医療倫理学分野教授、臨床倫理部部长)

参加費：無料 (宮崎県より修了証を発行)

参加者：43名 看護師、訪問看護師、病院関係、ソーシャルワーカー、高校生、医学部生  
 専門学校・大学関係、医師、保健師、歯科衛生士、社会福祉士、介護福祉士、  
 地域包括支援センター、職業安定所、セラピスト、音楽家、その他

プログラム：12:45～オンラインルーム入室開始

13:00～本日の流れ説明

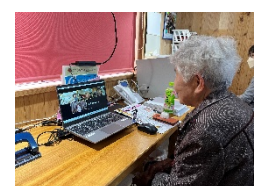
13:05～鈴木美穂さん講演・質疑応答

14:10～休憩 ブレイクアウトルーム分け

14:20～ブレイクアウトルームにてオンラインミーティング

15:30～ルームごとの発表

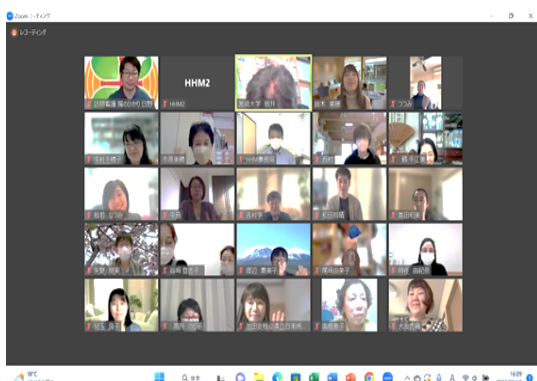
16:10 終了



## 【参加者感想】

- ・がんサロンや患者会の運営に何か少しでも参加できればと思っている。  
Maggie's の鈴木さんのお話を直接拝聴できとても心を動かされ、力をいただいた。  
このような、病院ではなくフラットと立ち寄って過ごせる、話をできる、涙も流せるような場が、Maggie's みたいな立派な建物でなくても、宮崎にもあってほしいと思いますし、そういう場につながる活動に参加していきたい。ブレイクアウトルームでのセッションも時間が十分あり、様々な立場の方と様々な視点から話をすることができ、初めての参加でしたがとても貴重な時間になった。(看護師)
- ・数年前に鈴木美穂さんの本を購入し拝読。今回オンライン上で聴講でき、とても嬉しく感慨深い気持ちになった。オンラインミーティングでは、普段会うことがない世代、職業の方と意見交換ができ、とても学びのある時間を過ごすことができた。(言語聴覚士、公認心理士)
- ・がん患者として、今後の治療や仕事など最近、悩んでいる所、鈴木さんのお話を聞かせてもらい、元気がもえた。また、今後の治療にも前向きになれるそうですし、身体を一番に今後の人生プランを立ててみようと思った。とてもタイミング的にも良かった。(看護師)
- ・今日は、普段体験できない貴重な経験が出来たと思う。参加者のほとんどが人生の先輩方で最初は不安もあったけど、優しくサポートしてくださったおかげでいい学びが出来た。今日の講座を生かすために baby step できるように頑張りたい。(高校生)
- ・鈴木さんの考え方、行動力、人の輪を繋げる力がすごいと思った。後半は、がんになった際に根拠に基づいた治療法を提示されて助かった、がんでも元気な人の存在に勇気づけられた、家族ががんになった際にどう対応をすれば良いか分からなかったのが心残り、などさまざまな経験を共有していただいた。今回の経験を活かせるような医師になりたい、と思った。(医学部学生)
- ・Baby Step でも今できることをしていきたい 学生さんなど様々な職種の方と話が出来た。(薬剤師)
- ・体験をしないとわからないことを聞くことができ胸がいっぱいになった。一緒に考えること、話を聞くこと、信頼関係を築くこと、寄り添うことの大切さ、何か一つでも私にできることができればいいなど考える。手を差し伸べること、次の一步を考えていけたらと思っている。(介護支援専門員)

【まとめ】鈴木さんがご自身の闘病経験、その後の活動の中でマギーズを作りたいと思い、医療の秋山さんと出会い、不足していたお金と土地と広報力を連れてきて立ち上げていった過程がわかった。コレクティブインパクト(ひとりだけでは、インパクトが小さくても、集めると大きなインパクトが生めるという考え方)で、患者さんやご家族の課題を、分野の違う色々な人たちで問題解決していこうという CancerX の活動は、様々な課題解決において参考になる がん経験者の参加者がおられ、鈴木さんだけでなく経験を共有することができた。がんになって幸せとは思わないが、がんになった後の人生も幸せと思えるように生きていきたいという鈴木さんの言葉が印象に残った。そんな社会にしたい。





### 3) エンドオブライフケア支援事業

#### (1) 暮らしの保健室

「地域に開放した暮らしの保健室を目指して」

コロナ禍であっても、感染対策のための換気をしながら快適に過ごせる居場所づくりをすることができるように、新たに「陽だまりカフェ(認知症カフェ)」を6月より開始した。

暮らしの保健室で催される内容を、  
毎月「暮らしの保健室だより」として発行

計 12 回発行



《暮らしの保健室利用状況》「ゆるりサロン」は定例・毎週月、水 10:30～15:00

月	日	曜日	時間	内容	人数
4	8	金	10:30～12:00	ゆるり短歌会	中止
	10	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	5
5	15	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	7
	23	月	18:00～19:00	理事会 (暮らしの保健室 3名、オンライン 4名)	3
	28	土	13:30～14:30	総会 (暮らしの保健室 13名、オンライン 5名)	13
6	12	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	4
	25	土	10:00～12:00	陽だまりカフェ	8
7	2	土	13:00～15:30	聞き書き勉強会 (全国ホームホスピス協会主催 育成塾)	3
	9	土	10:00～12:00	陽だまりカフェ	7
	23	土	10:00～12:00	陽だまりカフェ	中止
8	21	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	4
	27	土	10:00～12:00	陽だまりカフェ	5
9	10	土	10:00～12:00	陽だまりカフェ	7
	11	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	5
	24	土	10:00～12:00	陽だまりカフェ	5
10	5	水	16:00～17:40	理事会 (暮らしの保健室 5名、オンライン 6名)	5

月	日	曜日	時間	内容	人数
10	8	土	10:00～12:00	陽だまりカフェ	7
	16	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	5
	22	土	10:00～12:00	陽だまりカフェ	13
	29	土	9:30～11:00	赤江まちづくり推進委員会 つなごう部会 イベント準備	5
11	12	土	10:00～12:00	陽だまりカフェ	8
	26	土	10:00～12:00	陽だまりカフェ	10
12	4	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	3
	10	土	10:00～12:00	陽だまりカフェ	6
	24	土	10:00～12:00	陽だまりカフェ	10
1	14	土	10:00～12:00	陽だまりカフェ	4
	15	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	3
	28	土	10:00～12:00	陽だまりカフェ	16
2	11	土	10:00～12:00	陽だまりカフェ	3
	19	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	3
	19	土	13:00～12:00	がん患者と家族のためのサポーター養成講座（会場他はオンライン）	8
	25	日	10:00～12:00	陽だまりカフェ	12
3	11	土	10:00～12:00	陽だまりカフェ	6
	12	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	3
	25	土	10:00～12:00	陽だまりカフェ	14
	31	金	18:00～19:00	理事会（暮らしの保健室 5名、オンライン 4名）	5

### ①ゆるりサロン

実施日時：毎週月・水曜日 10:30～15:00

場 所：暮らしの保健室

担当理事：立川志乃(5月まで) 事務局担当：宮脇裕子

ボランティア：5名（うち体操指導2名、パッチワーク指導1名）

参加者：自分で来所することができる方、ご家族送迎のある方

コロナ感染予防対策として、月曜日6名・水曜日5名と参加人数を調整し実施。

実施日(回数)：2022年4月(4)、5月(7)、6月(10)、7月(3)、8月(0)、9月(7)

10月(6)、11月(8)、12月(7)

2023年1月(6)、2月(8)、3月(9)

合計 75回

延べ利用者（人数）：2022年4月(13)、5月(26)、6月(32)、7月(11)、8月(0)、9月(25)  
10月(18)、11月(24)、12月(27)  
2023年1月(22)、2月(29)、3月(33)

合計 260名

延べボランティア数(人数):2022年4月(18)、5月(33)、6月(40)、7月(16)、8月(0)、9月(27)  
10月(22)、11月(31)、12月(27)、  
2023年1月(26)、2月(31)、3月(61)

合計 332名

年間行事:7月 七夕さま

12月 クリスマス会

4～2月 イオン幸せのイエローレシートキャンペーン参加

要支援までの認定を受けるまでもない一人暮らしの高齢の方や、要介護であってもデイサービスの無い日に気軽に出かけられる場所。ゆるりサロンに行くとなじみの顔があり、楽しみができることにより、健康を取り戻し、認知症などの進行を抑えることができている。

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、利用人数の制限、検温、消毒の徹底、アクリルパーテーションを設置、消毒をするなど感染予防対策に努めながらサロンを開いた。



月曜日の皆さん



水曜日の皆さん



## ②陽だまりカフェ(宮崎市認知症カフェ運営補助金)6月～

実施日時：第2、第4土曜日 10:00～12:00

場 所：暮らしの保健室

担 当：橋口英治・松井康代・黒木裕子

内 容：2022年

6/25 相談、情報提供、認知症に効果のあるコーヒー手引き体験

7/9 相談、情報提供、地域のケアマネによるバルーンアート教室

8/27 家族等の参加なし

新規ボランティア希望者があったためオリエンテーションと情報交換を実施

9/10 相談、情報提供 包括支援センターから認知症コーディネーターの参加があり、一緒に相談対応

9/24 相談、情報提供、家族へのメッセージカード制作

10/8 相談、情報提供、アロマテラピー教室(ハンドマッサージを実施)

10/22 相談、情報提供、高齢者でもできる簡単ヨガ



11/12 相談、情報提供、認知症予防により食材とレンジで出来る簡単料理紹介  
介護教室①「こねない簡単パン」松井康代 氏

11/26 相談、情報提供、タクティールケア

12/10 相談、情報提供、クリスマスリース制作

12/24 相談、情報提供

介護教室②「季節を感じて①クリスマスを楽しむ～クリスマスケーキ製作～」

2023年

1/14 相談、情報提供

1/28 相談、情報提供、介護教室③「回想法と認知症予防」細見潤 氏

2/11 相談、情報提供

2/25 相談、情報提供、茶道体験

3/11 相談、情報提供・高齢者に無理のない運動指導

3/25 相談、情報提供

介護教室④「季節を感じて②花に触れて心を癒すフラワーアレンジメント」

株式会社奇日根

利用者数 2022年 6/25(6) 7/9(5) 8/27(5) 9/10(8) 9/24(6) 10/8(6) 10/22(12) 11/12(12)

11/26(9) 12/10(6) 12/24(10)

2023年 1/14(5) 1/28(16) 2/11(4) 2/25(12) 3/11(6) 3/25(14)

合計 143名 (スタッフ・ボランティア 57名含む)



### ③えがおキッチン

講師：松井康代 (助産師・調理師)

「陽だまりカフェ」にて実施

### ④セルフケアのためのお灸教室

講師：園田清美 (看護師・鍼灸師)

2022年度も昨年同様、実施することができなかった。

### ⑤AYA 世代お茶会

実施日時：年 12回

内容：AYA 世代患者会への支援

担当：太田 幸子

実施なし

## (2) がんサロン（ふらっとカフェ）事業

主 催：宮崎県 運営企画：ホームホスピス宮崎

担 当：太田幸子

カフェスタッフ：8名 アロマセラピスト：1名

実施日時：毎月第2水曜日 13:30～16:00

場 所：県立宮崎病院 4階会議室

実 施 日：2022年 4/13、5/11、6/8、7/13、8月9月はコロナ感染拡大で中止要請あり。10/12、11/9、12/14  
2023年 1/11、2/8、3/8

計 10回 実施

延べ利用者数：58名＋見学者等21名



参加者(スタッフも)は、入り口で検温、手指消毒、連絡先、問診票の記入 テーブルに消毒液  
コーヒー、紅茶、お抹茶、煎茶と個包装の小さな菓子を提供 飲食以外、特に会話の時はマスク  
着用。

希望者にはアロママッサージを体験して頂く 新型コロナウイルス感染対策、治療や生活に役立つ  
正しい情報など、毎回違う、持ち帰りできる資料をプリントアウトして用意した。

利用者の目的は、経験者の話を聞きたい、他の方と話をしたい、交流やおしゃべりを楽しみたい、  
話を聞いて欲しい、調べ物をして欲しいなど 連携室や在宅などにつながぐこともあった。

### 【参加者感想】

- ・久しぶりでしたが、心がほぐれた。
- ・継続してもらえるだけでありがたい。
- ・いつも帰る時はすがすがしい気分になります。
- ・多くの人に会いたい。
- ・今日も楽しい時間を有難うございました。お茶も美味しかった。
- ・ここを知って大変良かったです。来月来られたら、又、来たい。
- ・色々な情報を聞くこともできて、気持ちが楽になった。
- ・毎回、ここで楽しくおしゃべりをして、生きるヒントをもらった。おいしいお茶、コーヒーをいただき  
て、充実した時間をもつことができ、感謝!!
- ・人工発声器での話を聞いていただき、ありがたい。
- ・よく話を聞いて頂き、ありがとうございました。
- ・マッサージ楽しかった。
- ・新しい出会いがあってすごく楽しかった。
- ・県病院のスタッフの方に尋ねた時に、分かっておられず、案内されるのに時間がかかった。



### 【まとめ】

開催の有無(可否)は、参加者に了承を得て個別に連絡、患者さんが作られたふらっとカフェグループ  
LINEにて案内した。ホームページ、他病院の連携室などからの紹介で来られる方もあった。

また、HHMに電話で相談をされる方もおられ、事務局スタッフにも話を聞いてもらったり、折り返しの  
電話をした。

リアルの人と人とのコミュニケーションを求め、感染対策ができ、患者さんにとり安全な場所での開催

ということでのリピーターが多かった。悩んでいる患者さんやご家族も多くおられるので、今後も継続開催で他では対応できない部分を担っていきたい。病棟や化学療法外来など広く広報する。県病院職員でも知らない方も多いため、新年度はチラシをなるべく全職員に配布して周知をお願いする。

### (3) 宮崎市在宅療養でんわ相談（宮崎市補助事業）

相談担当：理事長・看護師・事務局

電話相談件数：58件（かあさんの家入居12名・他県ホームホスピス入居1名）

その他、メールでの問い合わせもあった

主な相談内容：病気の家族への寄り添いかた、在宅介護、施設入所、在宅医療、在宅サービス、看取り、かあさんの家入居

#### 【相談窓口の設置】

- ・宮崎市において、がんや認知症等の終末期患者で、医療機関での積極的な治療を望まず、住み慣れた地域で、馴染みの人に囲まれて最期の時を過ごしたいと在宅療養を選択して、様々な困難にぶつかったときに、共に考え話を聞き語ることで、自分自身の気持ちや症状を整理し、「わたしらしく生きる」道標の場を設置する。
- ・相談窓口設置の周知のためにチラシ作成し、自治会回覧板での案内。  
メンタルケアや看取り、認知症の介護に精通している看護師等の相談員を置く。
- ・相談専用電話機を設置し、常に相談できる体制を整える。

専用相談電話 0985-67-5003

相談日：週5日午前10時から午後5時まで開設。

相談は、電話、または面接してお話を聞く。相談料無料。

相談内容に関する個人情報保護の重要性を認識し適正に取扱う。



#### 【相談内容と対応】

チラシ自治会回覧3年目に加えて、イオンモール宮崎電子掲示板での周知も行われたこともあり、チラシや案内を見ての相談が増えた。回覧で見た時点での相談はなくても、何かあった時にとメモされていた方との声もあった。相談内容は、施設などの窓越し面会ができるようになったこともあり、面会禁止に関するものは減ったが、久しぶりに会えたからこそ「表情が気になる」「自宅に帰らせてあげたい」などが内容に変化が見られた。

医療や介護に関する専門的な質問に対しては、当会の看護師、「ふらっとカフェ(がんサロン)」、「陽だまりカフェ(認知症カフェ)」、地域包括支援センターの認知症コーディネーターやなど、専門職からアドバイスをいただいたり、対応をお願いしたりしながら、相談に対応している。

他県在住の方からの相談に関しては、他県ホームホスピスと連携して入居、お看取りとなった事例もあった。

## 4) ホームホスピスかあさんの家事業

### (1) かあさんの家の運営

統括マネージャー：久保野イツ子

主 任：【曾師】薬師寺恵【霧島代行】甲斐昌江【月見ヶ丘】荒川久美子【安庵】休止中

#### 【事業内容】

- ①訪問診療、訪問看護と必要に応じてその他の職種の訪問サービスを受け入れ、地域連携サービスを整える。ここから、他の事業所のデイサービスなど利用する。
- ②24時間365日対応で、夜間1名、昼間2名のスタッフ配置。
- ③家族を対象とした死のプロセスの理解や、看取りの心構えなどを、かかりつけ医や訪問看護ステーションと連携して補完する。
- ④高齢者の摂食嚥下に配慮して嚥下訓練やソフト食の提供。調理担当スタッフがいることで、台所からの音や匂いがあふれ、食欲が増す効果がみられるようになった。
- ⑤本人の意思を尊重した個別ケアを実施する。(排泄、食事、入浴、睡眠など)
- ⑥防災など地域住民と連携し、日ごろからのコミュニケーションを図る。日頃からの挨拶や地区の行事に参加するようにしている。

#### 【かあさんの家の運営】

- ・2022年2月より、「かあさんの家安庵」を加え4軒の運営となっていたが、安庵のスタッフの急病や転勤により4名の欠員でシフトが回らなくなり、4月で一旦休止とした。残っていた入居者2名とスタッフ3名は、霧島に吸収することができた。
- ・課題としては介護職の不足が続いており、ハローワークやSNSを使つての募集をするも、なかなか応募そのものがない状態が続いている。夜勤のみ勤務として、准看護師や看護師のダブルワークなどをお願いしている。
- ・コロナ感染症の対応で、病院や施設は面会謝絶が続き、「かあさんの家では面会ができますか」という相談が増えた。本年度の看取り数は12名、例年の倍の数だった。その為、余命がわずかという方が看取りの為の入居となり、2日から10カ月という短期間の入居の方が9名だった。病院に入院していたら家族が看取ることができなかった、本当に良かったとの言葉があった。
- ・5年から10年という期間暮らしていた方が3名、ほぼ老衰で寿命を全うされた。亡くなった直後は、ご家族だけのお別れの時間が持てるようにして、ご家族と一緒にエンゼルケアもしていただくようお願いした。

#### 【新型コロナウイルス感染への対策】

- ・コロナ禍の中でのご家族の面会には、一律に面会謝絶をするのではなく、感染状況に合わせて面会の制限を設け、ご家族には協力依頼を文書などで伝えた。まず“ウイルスを持ち込まない”ことをご理解いただき、玄関口で検温、発熱している場合は出入りを禁止。マスク着用、手指消毒、フェイスシールドの装着などを徹底し、面会の滞在時間は10分から15分程度でと制限。県外、特に感染拡大地域からの来訪は、1週間から10日からの猶予をもって来訪してもらった。

- ・ただし、ターミナル期であり状態が良くなく、残された時間が少ない場合は、この限りではなく、ゾーン分けをしてベッドサイドに寄り添ってもらう時間をつくった。

#### 【行事や研修生の受け入れ】

- ・お誕生会やお花見会

それぞれのお誕生会は、スタッフが主になってお祝いした。本年度はご家族の面会や出入りを制限していたために、お花見は中止し、誕生会は写真や動画で伝えた。

- ・研修生の受け入れ

研修医や看護学生の研修や実習などを受け入れが困難の状態が続いている。



#### ◆かあさんの家 曾師◆

現入居者：4名（認知症1名、透析1名、全盲1名、経管栄養1名）平均介護度：3.75

スタッフ：介護職8名、調理 1名 うち夜勤専従者1名

看取り数：7名 新たな入居者：1名

- ・訪問看護ぱりおんが在宅で訪問看護を担当していた方で、生活保護のため身寄りがない4名の方を看取りまで支えた。
- ・入院中にコロナに院内感染し隔離、その間にADL低下で食事ができなくなり自宅では介護できないと入居。短期間であったが、ご家族が励ます中の看取りとなった。



#### ◆かあさんの家・霧島◆

現入居者：4名（認知症3名、心疾患1名）平均介護度：4

スタッフ：介護8名（内 夜勤専従者2名）、調理 1名

看取り数：4名 新たな入居者：2名

- ・9月初めに入居者にコロナ感染陽性者が出て、入院ではなく入居のまま治療となった。すぐに抗ウイルス薬が処方され、翌日には熱も下がり食欲も戻り、普段の生活に戻った。お部屋での隔離と、スタッフのPPE装着の介護が2週間続いた。感染経路を特定することは困難で、認知症の為直ぐに立ち上がり転倒の危険性もあった。スタッフは、まずお部屋に飛び込んでケアすることを優先した為、スタッフが次々に感染し、未感染のスタッフ3名でシフトを回すことになり、非常事態のケアだった。頑張ったスタッフに感謝しかない。
- ・Hさんは発熱などの兆候もなくコロナ感染陽性反応の直後に急逝され、コロナ感染症によるものかどうか判断が難しい状況で混乱した。葬儀社の受け入れができなくて、ご家族の戸惑いとお別れが十分にできない悔いだけは避けたいと、遠方から駆け付けたご家族と一緒にエンゼルケアをおこない、通夜で一晩寄り添っていただいた。葬儀社と交渉し、翌日納棺、直葬となりご自宅での葬儀となった。ご遺体からは感染はしないという厚労省の見解があるにもかかわらず、葬儀社は受け入れができない現実に、コロナ禍の中での看取りと葬儀のあり様の厳しさを実感した。
- ・いつも穏やかな笑顔で周りの人たちを癒していたKさんは、7年の入居で老衰であった。遠方に暮らすご家族は、かわるがわる帰省し一緒に過ごす時間を大切にされた。コロナ禍の間は、オンラインでつなぎ、交流できるように配慮した。ご家族は家の営繕や庭木の剪定などをいつもお手伝いしてくださり、スタッフとはまるで疑似家族のような関係性を構築された。



#### ◆かあさんの家・月見ヶ丘◆

現入居者：5名（気管カニューレ及び胃瘻1名、経管栄養1名、認知症3名、）平均介護度：5

スタッフ：介護8名（内 夜勤専従者2名）

看取り数：0名 新たな入居者：1名

- ・現入居者は、気管カニューレ、経管栄養、喀たん吸引などの医行為が必要で、重度介護が必要な方々である。病状は落ち着いて居てそれなりに穏やかな生活が継続されている。看取り数が0であった。
- ・病院でコロナ感染し、ADL低下で経管栄養で、菅を抜かないようにミトン装着、入居後ミトンをはずしたら直ぐに管を引き抜いてしまった。それなら何とか栄養を取れる方法を考えようと、スタッフの工夫で、口から高カロリー栄養剤を飲んでもらうことにし、小康を得ている。

#### ◆かあさんの家・安庵◆ （2022年2月21日～2022年7月12日まで、その後休止とする）

入居者：3名（認知症2名、乳がん末期と認知症1名、）平均介護度：3

スタッフ：介護職5名、調理 1名 うち夜勤専従者2名

看取り数：2名（うち1名は緩和ケア病棟にて死去） 霧島に移動転居：2名

\*数字は、移動した7月12日時点である。

- ・2月21日より、かあさんの家安庵としてスタートした。これまでの安庵のスタッフを新たに雇用したが、6月に入り交通事故や病気などの理由で退職が続き、緊急にかあさんの家スタッフが手伝う体制を取った。しかし余裕がない状態であったために、7月12日に霧島に入居者2名、スタッフ3名を移動することにし、安庵は休止とした。夜勤専従者は曾師に移動していただいた。
- ・Mさんは、他施設でのケアに対して不満を抱いていた家族の相談で、ちょうど安庵がスタートしたばかりの時に入居された。穏やかな性格でご家族を大切に生きてこられた。4が月の入居期間であったが、ご家族が毎日面会し、好きな料理を差し入れ、散歩など、残された時間を過ごされ、ご家族が揃って旅立ちを見送られた。

## （2）訪問介護ステーションぱりおん（医療・介護保険規定による事業）

管理者：甲斐昌江

サービス提供責任者：薬師寺恵、甲斐昌江、荒川久美子

スタッフ：22名 うち夜勤専従4名

介護福祉士11名、ヘルパー1級1名、ヘルパー2級7名

### 【内部研修】

- ・毎月初めに主任会議（シフト会議）
- ・定例スタッフ研修（毎月、各家ごと）  
今年度、各家10月、2月に開催  
2月は、市原理事長による「ホームホスピスかあさんの家の物語～看取った方々に学ぶ～ホームホスピス宮崎の理念」と題して講演（研修会）を行った。

### 【外部研修】

県内研修の案内も今年度（令和4年度）は少なく、人員不足・新型コロナウイルス感染対策のため外部研修参加なし

## 5) HALE たちばな

### (1) 事業概要

HALE たちばなは 2 年目に入り、それぞれの事業が軌道に乗ってきた。みつばち診療所は、新規開設の診療所ということで行政の指導も一部受けながらも、順調に訪問先を増やし、かあさんの家への訪問や訪問看護との連携、また地域の医療機関との連携も行いながら訪問診療所としての役割を確立してきた。また、2023 年度からの医師増員（2 名体制）に備えて、3 階にあった診療所を 1 階の「たちばな学舎」と入れ替える工事を実施した。訪問看護ぱりおんは、医療的ケア児の登校サポート事業なども受託し、この分野での地域における第一事業所としての役割を果たしている、短期入所 leilei、日中一時支援 ohana とともに、障害区分の重い利用者を受け入れていることで、これまでこのような制度をなかなか利用できなかった医療的ケア児の利用が一気に増えた。短期入所は福祉型であるため、制度の壁もあり、収益的には厳しい面もあるが、行政との話し合いや政策提言も含めて、制度の改善を求めている。

コミュニティカフェ游椿は、運営委託で行っているが、昨年度末から年度初めは「Awaken Curry」と、また 6 月からは「Café kiki」と委託契約を結び、ランチの提供や休眠預金基金事業などとの連携によるクラフト作品の展示販売などを行っている。

- ・ HALE たちばな事務局（事務長 1 名・事務員 1 名）
- ・ みつばち診療所（主として訪問診療）
- ・ 訪問看護ステーションぱりおん
- ・ 福祉型強化短期入所 leilei（定員 5 名）
- ・ 日中一時支援 ohana（定員最大 10 名）
- ・ たちばな学舎（ミーティング、セミナー、各種教室に利用）
- ・ コミュニティカフェ游椿（福祉トイレなどを備えたカフェ）



### (2) 休眠預金等活用事業

- ・ 2021 年度より休眠預金を活用した「社会的孤立解消のための事業」に取り組んでいる。
- ・ 対象者は、HALE たちばなの leilei、ohana を利用する子ども達のご家族（主に母親）。

#### ① 県内の医療的ケア児の実態調査

- ・ 県内の訪問看護ステーション 154 箇所アンケートを送り、61 箇所より回答を得ている。

#### ② コミュニティカフェを活用した様々な専門家による相談カフェの実施

- ・ 8 月より毎月第 2・第 4 月曜日に岡元薬局の岡元先生（理事）を相談員として開催。

#### ③ 研修ルームを活用したクラフト教室やヨガ教室などの定期開催

- ・ ヨガ教室（ナイトヨガ）：2022 年 7 月から毎月開催
- ・ ウクレレ教室：2022 年 12 月から毎月開催

#### ④ カフェでの就労支援や在宅で取り組める仕事の調査やマッチング

- ・ 2022 年度は、調査のみ：大学などのテープ起こし業務などが候補

- ⑤ 全国の先進的な取り組みとの連携
- ・福井のオレンジキッズ、栃木のうりずん、東京のフローレンスなどと研修などの交流
- ⑥ SNS やリモートミーティングシステムを利用した定期的な家族会ミーティング「Pono」
- ・9月よりほぼ毎月開催。県内の3つの家族会とオンラインミーティングを行い、近況報告や意見収集などを行っている。
- ⑦ SOS ネットワーク「つどいけあ」の構築
- ・県内の医療的ケア児などを持つ家族の悩みや声を聞き、アドバイスや有用な情報を提供するためのシステム。掲示板機能などを柱としたウェブサイトを構築中。
- ⑧ 福祉避難所としての設備の整備
- ・太陽光発電システムと連動した蓄電池を導入し停電に備えている。
- ⑨ これらの取り組みを実施、運営するための事務局体制の整備を3年間の計画で実施する。
- この事業は、2023年度までの3年間の事業で、事業に関わるスタッフの人件費、備品費、セミナー等の講師謝金などが助成される。2022年度は、県内の家族会ミーティング「Pono」を毎月定期開催し、当事者の意見をお聞きする取り組みを始めた。



相談カフェ



ナイトヨガ



家族会ミーティング

### (3) たちばな学舎・コミュニティカフェ游椿の利用

#### ①たちばな学舎

内部研修、外部団体による研修や会議、カルチャー教室として利用  
(2023年3月から HALE たちばな 3階へ移転)

#### 【利用実績】

##### 主催研修

- ・聞き書き講座（これからライフデザイン塾）2022年7月10日
- ・カルチャー教室(休眠預金活用事業)
 

ナイトヨガ	2022年7月から毎月開催
ウクレレ教室	2022年12月から毎月開催

##### 外部団体利用

- ・医療関係研修会 2回開催
- ・宮崎国際ジャズディ実行委員会 13回開催
- ・セミナー研修 1回開催

## ②コミュニティカフェ游椿

ケアルームやオストメイト対応トイレを備えたカフェとして開設

外部の方と委託契約を結んで運営

6月に委託者が変更となったが、1年間運営することができた。

スタッフ(2階の利用者医ケア児保護者)がフロア業務の一部を担当(休眠預金事業の一環)

- ・Awaken curry(カレーランチ) 2022年4月～5月

11日営業(154名来店)

- ・Café KiKi(プレートランチ) 2022年6月～

104日営業(907人来店)

- ・相談カフェ(休眠預金事業)

毎月第2・第4月曜日

- ・ママ友ランチ会(休眠預金事業)

leilei・ohana 利用の医ケア児のママたちの集いとして開催

2022年7月27日 9名

2022年11月14日 11名

2023年3月14日 14名



## (4) 難病の子どもと家族を地域で支える取り組み(日本財団助成金)

医療的ケア児を取り巻く様々な社会問題を市民に知っていただくための「地域交流イベント」などを実施。コンサートとシンポジウムを組み合わせることにより、これまであまり関心のなかった方々にも「きょうだい児」の問題を知っていただくことができた。

### ① 講演とコンサートの実施

「コンサートとシンポジウム～身近な人の困難に寄り添える社会に～」

実施日時：2022年12月3日(土)

会場：MRTmicc

コンサート：宮里陽太バンド

講演：「きょうだい支援の必要性～当事者の声から見えてくるもの～」

沖 侑香里 氏(静岡きょうだい児の会)

シンポジウム：「地域で難病の子どもと家族を支えるケアについて真剣に考える」

座長 三宅玉恵

シンポジスト 澤田一美 氏、蔵本歩 氏、奈須彩乃 氏、奈須美幸 氏

コーディネーター 沖侑香里 氏、堤育子

参加者人数：104名、(一般75名、障害者手帳あり7名、学生22人)



### 【参加者感想】

- ・演奏会の中で「Precios」がとても心がふるえた。きょうだいという面にはやはり目が向けられない。
- ・障害をもつきょうだいなど、身近にいない人にとっては、本人ときょうだいと親が大変だと思っていた。しかし、きょうだいにも大きな精神的ストレスがかかることを理解してご家族にも関わっていくことが、大切だと看護学生として新たな視野を広げることができた。
- ・きょうだい児のお話がきけてとても良かった。我が家も弟が人工呼吸器を2時間使用している姉がいて、姉も高校生で進路に悩んでいる。とても良いお話を沢山聞いて姉の感想も色々聞いてみたい。
- ・全ての講演がそれぞれに印象的。ここまで集めていただいてとても学びが深まった。感動がたくさんあり、素晴らしい企画。沖さんの話は学校などでもしてほしい。
- ・兄弟のストレスはフォーカスされにくいので視野が広がるととても良い機会だった。子どもにとっては、障害あるない関係ないという言葉が身にしみた。



### ②ケアスタッフ研修

- ・先進地域でのスタッフ研修

うりずん(栃木県) 看護師 1名

オレンジキッズケアラボ(福井県) 准看護師 1名

フローレンス(東京都) 看護師 1名 理学療法士 1名

- ・情報発信

ホームページリニューアル

パンフレット製作

PR 動画製作

## (5) 医療・介護保険規定による事業

### ①みつばち診療所

2023年3月1日に HALE たちばな 1階に移転

医師：楠元恭子

看護師：2名

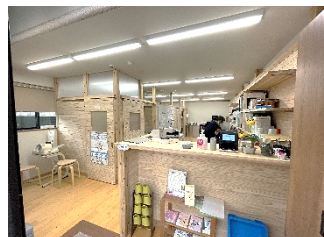
事務：1名

代診医師：4名

【診療時間】9：00～17：30（受付8：30～）

【休診日】土曜・日曜・祝日

0歳からご高齢の方まで、年齢や疾病によらず、患者様や介護されているご家族に寄り添った訪問診療を行う



### 【訪問実績(人)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
定期訪問	86	91	130	134	154	149	157	139	154	129	167	184	1,674
往診	11	5	19	13	18	21	13	11	12	11	9	20	163
緊急往診	8	3	4	4	11	14	2	2	5	1	2	1	57
夜間往診	0	0	0	0	0	0	1	2	2	1	1	1	8
深夜往診	0	2	2	2	0	0	3	2	2	1	1	3	18
休日往診	1	2	0	0	0	0	5	0	2	1	3	2	16
外来	28	15	10	25	25	10	7	15	15	19	11	17	197
計	134	118	165	178	208	194	188	171	192	163	194	228	2,133

### 【患者登録数(人)】

登録者数	94
(内入院者数)	3

### 【居住地別(入院者除く)】

居住地	人数(人)
自宅(医療的ケア児以外)	32
自宅(医療的ケア児)	11
かあさんの家	10
有料老人ホーム	27
介護付き有料老人ホーム(特定施設1)	11

②訪問看護ステーションぱりおん

訪問看護ステーションぱりおん（橘通り）サテライトぐりーん(恒久)

所 長：堤育子

看護師・保健師：常勤 11 名・非常勤 1 名

理学療法士：常勤 2 名・非常勤 1 名

介護福祉士：1 名

事務：非常勤 2 名

【事業内容・実績】

月	介護件数	医療件数	介護予防	計
4	208	472	6	686
5	185	444	5	634
6	190	401	4	595
7	178	427	4	609
8	182	485	6	673
9	212	519	6	737
10	206	401	7	684
11	177	387	5	569
12	199	452	4	655
1	213	405	4	622
2	195	401	4	607
3	246	459	4	709
計	2,391	5,253	59	7,780

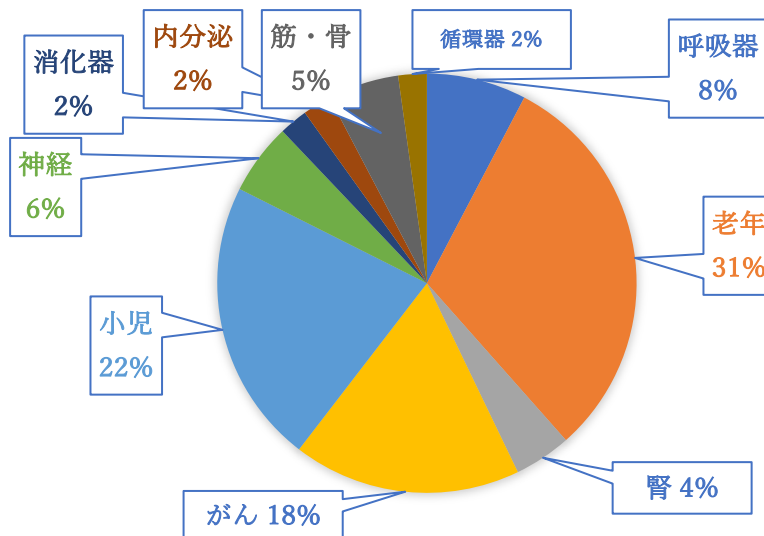
延べ訪問回数 7,780 件

【利用者数（月別）】

4月 74 人 5月 74 人 6月 74 人 7月 80 人 8月 85 人 9月 86 人  
 10月 78 人 11月 78 人 12月 74 人 1月 74 人 2月 90 人 3月 86 人

延べ人数：953 人 av:89 人

【利用者疾患別分類】



### 【看取り件数】

2022年4月1名 5月2名 6月3名 7月3名 8月1名 9月3名 10月3名 11月2名 12月1名  
2023年1月2名 2月4名 3月4名 かあさんの家3名 在宅26名 計29名

### 【外部講師派遣等】

(堤)

宮崎県専門認定看護師派遣事業  
宮崎市医療的ケア検討委員  
宮崎看護専門学校医療専門課程 地域看護概論 (5/27 6/1 6/2 )  
宮崎看護専門学校 医療高等課程 講演 (5/13)  
宮崎大学医学部看護学科 がん、小児訪問看護 (5/13)  
宮崎大学医学部 地域医療 (5/22)  
熊本大学医学部看護学科 在宅感染 がん看護 (7/5)  
宮崎県立看護大学 地域看護 (6/23) 死生看護学 (10/25)  
宮崎県看護協会セカンドレベル 保健福祉の協働 (10/8)  
専門・認定看護師会 在宅感染予防 (10/25)  
STEP 1 講義 (5/21)  
日南看護専門学校 (6/30 11/10)  
宮崎県看護人財交流支援事業協力員  
訪問看護事業財団アドバイザー派遣事業アドバイザー 7/2  
宮崎母子衛生学会 シンポジスト (10/22)  
在宅看護学会 発表 (11/19)  
南那珂医師会公演 (12/11)  
県立宮崎病院看護師研修講師 (1/20)

(吉田)

宮崎市社会福祉事業団 医療的ケア研修 (8/2)  
宮崎看護専門学校 (6/3 6/10)  
死の臨床研究会 発表

### 【委託事業】

医療的ケア児学校派遣事業  
宮崎県専門認定看護師相談支援事業  
コロナ療養者電話体調管理事業  
在宅介護者障害者コロナ感染検査支援事業

### 【実習受け入れ】

宮崎大学医学部看護学科 宮崎看護専門学校 県立宮崎看護大学 日南看護専門学校 九州保健福祉大学 セカンドレベル実習 STEP1 実習 病院実習 PT2 名



### 【内部研修】

感染研修・災害対策・褥瘡研修・難病研修

コンサートとシンポジウム～身近な人の困難に寄り添える社会に～

### 【外部研修】

毎月新卒者研修実施

新卒者研修 3名...実習：医師会病院 県立宮崎病院 県立こども療育センター

新卒者研修...県立宮崎病院 東病院 都城病院 潤和会記念病院

訪問看護サミット

在宅看護学会

### ③日中一時支援 ohana

管理者：川越やよい

看護師：常勤1名、非常勤2名

介護福祉士：常勤2名、非常勤2名

保育士：2名 生活支援員：1名

### 【事業内容】

主な対象：医療的ケアが必要なお子様

運営：月～金(土日祝年末年始休み)

時間：9時～18時(送り17時) 送迎あり

定員：最大15名 食事：朝100円/昼・夕200円

入浴：保険外利用は500円/1回



### 【一日の流れ】

日中 ～朝から来所

来所 バイタルチェック

午前中 入浴・処置

水分補給

お昼 注入

午後 レクリエーション

帰りの準備

退所

～学校終了後來所

来所 バイタルチェック

入浴

水分補給・注入

帰りの準備

退所



### 【日中行事の様子】

天気の良い日は近くの公園や商店街へお散歩や、科学技術館やお花見、海や神社、お祭りなど外出の機会を設けています。

室内では製作やリズム遊びや感触遊び、季節のフルーツやおやつを口に含んで

味覚を刺激するなどの遊びを取り入れ、楽しく過ごせるよう企画しています。

【実績】

月	利用者数	内訳			月	利用者数	内訳		
		未就学児	就学児	卒業後			未就学児	就学児	卒業後
4	17	5	9	3	10	14	4	7	3
5	16	5	8	3	11	14	4	7	3
6	16	5	8	3	12	15	4	8	3
7	16	5	8	3	1	19	7	9	3
8	17	4	10	3	2	16	6	7	3
9	18	5	10	3	3	16	5	8	3
					合計	194	59	99	36

④共生型短期入所(福祉型強化)施設 leilei

管理者：広瀬知佳

【事業内容】

主な対象：医療的ケアが必要なお子様～高齢者

運営：木～月(年末年始休み) 最長2泊3日

時間：9時～翌17時(帰り15時)

定員：5名 食事：朝100円/昼・夕200円

木～土は送迎あり

「HALE たちばな」には、診療所や訪問看護ステーションが併設のため、医療の相談も可能。

自宅でも訪問診療や訪問看護により連携した医療を提供。

【実績】

月	利用者数	内訳		利用者年齢		
		障がい	介護	未就学児	就学児	大人(18歳以上)
4	17	16	1	4	9	4
5	16	15	1	3	9	4
6	16	15	1	4	7	5
7	17	16	1	5	9	3
8	17	16	1	4	8	5
9	17	16	1	3	8	6
10	21	20	1	3	12	6
11	19	18	1	6	8	5
12	19	18	1	6	8	5
1	18	17	1	6	6	6
2	19	18	1	4	10	5
3	20	19	1	6	8	6
合計		216	12	54	102	60

## 6) ホームホスピス推進研修センター事業

### (1) ホームホスピス研修生の受入れ (全国ホームホスピス協会より委託)

#### ①ホームホスピススキルアップ研修

2022年5月30日 棟 HHM事務局 (ホームホスピス運営について)

#### ②ホームホスピスの学校 実習

2022年4月～9月(計20日) 1名(福岡県)

9月16日～22日 1名(福岡県)

12月7日～9日 1名(大阪府)

12月15日～16日 1名(宮崎県)



### (2) 一般社団法人全国ホームホスピス協会

一般社団法人全国ホームホスピス協会事務局よりホームホスピス宮崎へ業務委託

理事長：市原美穂

役員：理事6名、幹事1名

事務局：3名

書記：1名

#### 【業務内容と実績】

##### ①会員管理

##### ②理事会の開催 (WEB)

2022年4/21、5/19、8/4、9/29、11/22、11/28、2023年1/12、3/4 計 8回

・理事会の資料作成、旅費の支払い各理事との連絡などの業務

##### ③定期総会 (ホームホスピス宮崎暮らしの保健室・WEB)

期日：2022年11月28日 ・総会の運営、資料作成

##### ④ホームホスピスの認定業務 (現認定13法人)

##### ⑤認定審査業務 (レビュー)

##### ⑥ホームホスピスの学校の運営(年2期)

##### ⑦全国のホームホスピスの運営に関する相談・緊急支援

##### ⑧拠点整備団体の推薦協会主催の研修会の運営

##### ⑨研修会の実施

第6回ホームホスピス実践者育成塾 石川県小松市・WEB開催 期日：2022年7月1, 2日

第11回ホームホスピス全国合同研修会 北海道札幌市・WEB開催 期日：2022年10月29, 30日

##### ⑩ホームページ運営・ニュースレター (たんぽぽ) の発行

##### ⑪全国の支部活動の支援

九州支部研修会 熊本県熊本市・WEB開催 期日：2023年2月13日

西日本支部研修会 兵庫県姫路市・WEB開催 期日：2023年3月11日

##### ⑫新しく開設されたホームホスピスへの支援

##### ⑬助成金の申請他、ホームホスピスの運営に関する資料作成などの業務

##### ⑭メットライフ生命 CSR活動対応 (聞き書きボランティア)

## 7) 研究・啓発・情報・広報

### (1) 認定 NPO 寄付文化の醸成

- ・HPで、賛助会員や寄付の呼びかけ
- ・ファンドレイジングの活用
- ・助成金の申請
- ・第3者評価（グッドガバナンス認証）
- ・研修会の参加

2022年12月22日 readyfor 支援者をふやすための広報とは

2023年1月19日 寄付規制新法学習会

1月27日 組織基盤強化フォーラム

2月18日 FRJ2023

2月28日 readyfor ボランティアやインターンの集め方・仕事の任せ方

3月8日 readyfor 継続寄付

認定ファンドレイザー 黒岩 雄二

准認定ファンドレイザー 岡田 瑞穂

### (2) ホームページ SNS の充実・報道

- ・ニュースレター HHMにゅーす  
2022年8月発行…33号  
2023年1月発行…34号
- ・暮らしの保健室だより 毎月発行（12回）
- ・ブログ（ぱりおん） <https://blog.canpan.info/hhmiyazaki/>
- ・Facebook <https://www.facebook.com/homeospice.miyazaki/>
- ・ホームページ <https://www.npo-hhm.jp/>
- ・Instagram・Twitter



#### マスコミなどの紹介

##### 《新聞等の掲載》

2022年4月 医療福祉建築「ウィズコロナ・ポストコロナの福祉施設」

2022年9月 JAMMIN (WEB)

家庭のような温かな雰囲気です「その人らしい暮らし」を支え、穏やかな最期を紡ぐ「ホームホスピス」

2022年12月 宮崎日日新聞

2023年1月18日～2月1日 医療と介護 2040 (WEB)

「ホームホスピス宮崎の新たな一歩は医療的ケア児支援が中心の「全世代型支援」1,2,3」

2023年1月 ミヤザキ大作戦「ゆるりサロンボランティア紹介」

### (3) 講師派遣・見学者の受け入れ

#### ・講師派遣(市原)

- 2022年 4月9日 NPO 法人つどい場さくらちゃん研修会(オンライン)  
4月17日 宮崎女性ネットワーク  
5月30日 鳥取大学地域学部  
6月23日 南房総緩和ケア懇親会(オンライン)  
7月16日 熱中小学校 北海道江丹別白老分校(オンライン)  
8月1日 ジャムズネットスイス(オンライン)  
10月8日 日本ホスピス在宅ケア研究会奈良大会  
11月1日 県立看護大学看護学科  
12月20日 宮崎大学医学部看護学科  
12月21日 生目台東民生委員研修会
- 2023年 1月21日 日南市地域医療を学ぶ市民公開講演会  
3月20日 宮崎市エンディングノートアドバイザー フォローアップ研修

#### ・見学者の受け入れ

- ホームホスピスかあさんの家…5件(入居相談見学は含まない)  
HALE たちばな…随時対応

### (4) 外部委員会参加

- ・宮崎市在宅医療プロジェクト会議…市原、太田
- ・県央在宅緩和ケア推進委員会…市原
- ・延岡市障がい児・者支援拠点などの整備可能性検討委員会…市原
- ・宮崎市医療定期ケア児等支援実務者検討会…堤

## 8) 助成・寄付

①日本財団…難病支援事業助成

②休眠預金…社会的孤立解消のための事業

③JAMMIN チャリティーTシャツ

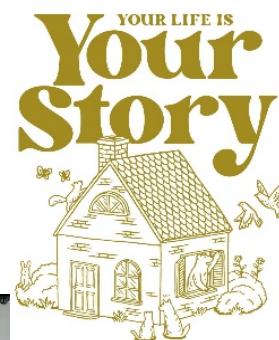
HHMの活動をイメージしたデザインのチャリティーTシャツ等を販売

オンライン販売期間：2022年9月19日～25日、10月29日～12月10日

寄付額：171,890円

※日本財団…難病支援事業助成

「HALE たちばな」建築費監査 2023年2月15日



## 9) 組織運営

### (1) 理事会・定期総会

#### ①理事会

場所：暮らしの保健室オンライン併用

#### 第1回 2022年(令和4年)5月23日 18時～

- ・2022年度(令和4年度)役員案について
- ・令和4年度(2022年度)の事業計画及び予算について
- ・各種手当での設定について

#### 第2回 2022年(令和4年)10月5日 16時～

- ・規程の追加・改訂について
- ・みつばち診療所の拡張について
- ・賞与の支給について
- ・みつばち診療所の手当について

#### 第3回 2023年(令和5年)3月31日 17時～

- ・2023年度(令和5年度)事業計画について
- ・2023年度(令和5年度)収支予算について
- ・給与の見直しについて
- ・手当の見直しについて



#### ②総会

#### 通常総会 2022年(令和4年)5月28日 13時30分～

議長：市原美穂 議事録署名人：久保野イツ子、黒岩雄二

第1号議案 2021年度(令和3年度)活動報告・決算報告

第2号議案 2022年度(令和4年度)役員選出

正会員総数20名のうち 賛成20名 反対0名

報告事項...2022年度(令和4年度) 事業計画・予算

### (3) 会員

正会員 20名 賛助会員 42名 団体賛助会員 1団体

### (4) 寄付

136名(団体も含む)



みつばち診療所移転に伴い  
ドネーションツリーを游椿へ移設

## (5) 事務局

リーダー会議…開催日：毎月第4木曜日（定例）3月より実施。

参加者：理事長、担当理事、所属長、管理者

事務局会議…開催日：日にちの設定はしていないが、その都度打ち合わせを行ってきた。

参加者：理事長、副理事長、担当理事、事務局、管理者

### 【内部研修】

2023年2月2日 インボイス研修

### 【本部事務局】

事務局担当理事：黒岩 雄二

経理担当：2名 総務・事業担当：2名 かあさんの家担当：1名



・宮崎市エンディングノートアドバイザー 4名（2023年3月20日フォローアップ研修受講）

・赤江地域まちづくり推進委員会つなごう部会所属 1名

### 【HALE たちばな事務】

事務長：小川 博司

HALE 事務担当：1名 訪問看護事務担当：2名

診療所事務担当：1名 障害福祉事務担当：2名（兼務）